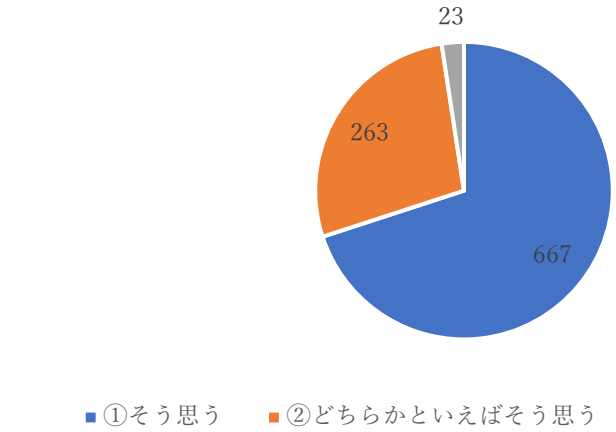
資料５-３

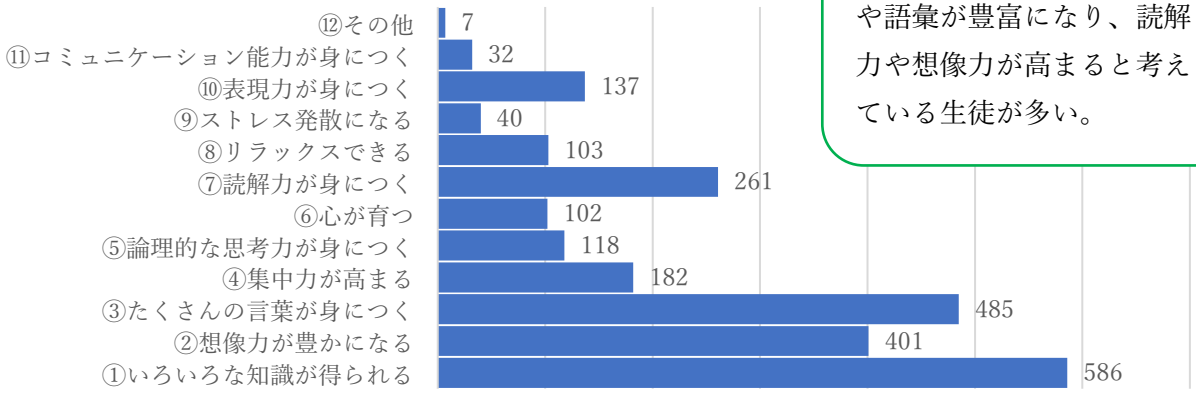
第５次　北九州市子ども読書プラン　アンケート結果（高校生）

問１　本を読むことは大切だと思いますか。



①そう思う、②どちらかと言えばそう思う、と答えた生徒は全体の 97%以上。読書の大切さを認識している生徒の割合は非情に多い。

問２-(1)　問１で①または②と答えた方へ。なぜ読書は大切だと思いますか。

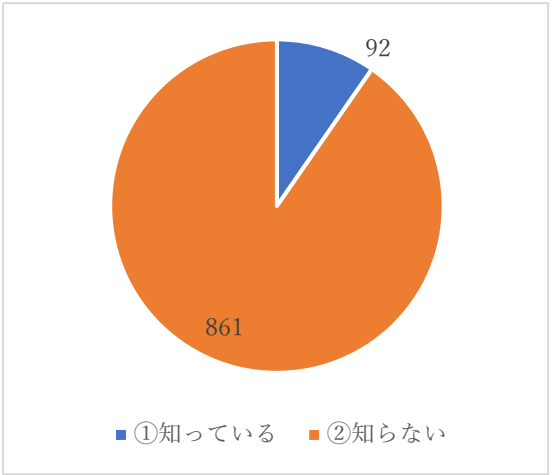


読書により、自分の知識や語彙が豊富になり、読解力や想像力が高まると考えている生徒が多い。

問２-(2)　⑫その他と回答した方へ。なぜ大切だと思うかお答えください。

無心になれる、知識が定着しやすいため、面白いから
好きな本はたくさん読み進めることができて次から読めたらいいなと本を取りやすくなるから

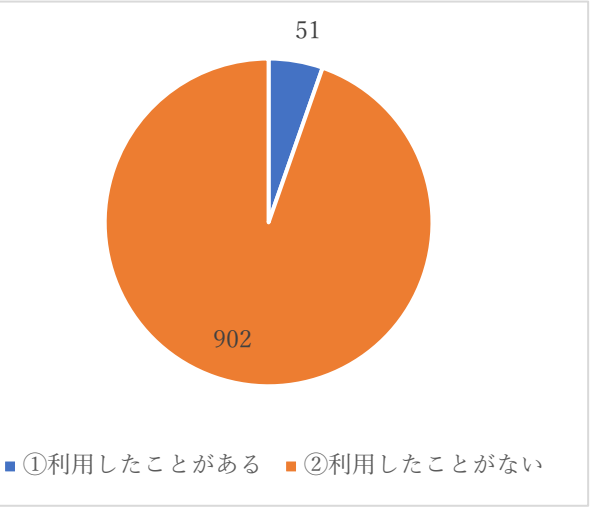
問３　１０月の第４日曜日が「北九州市子ども読書の日」であることを知っていますか。



北九州市独自の子ども読書の日について知っている高校生は全体の１割にも満たない。

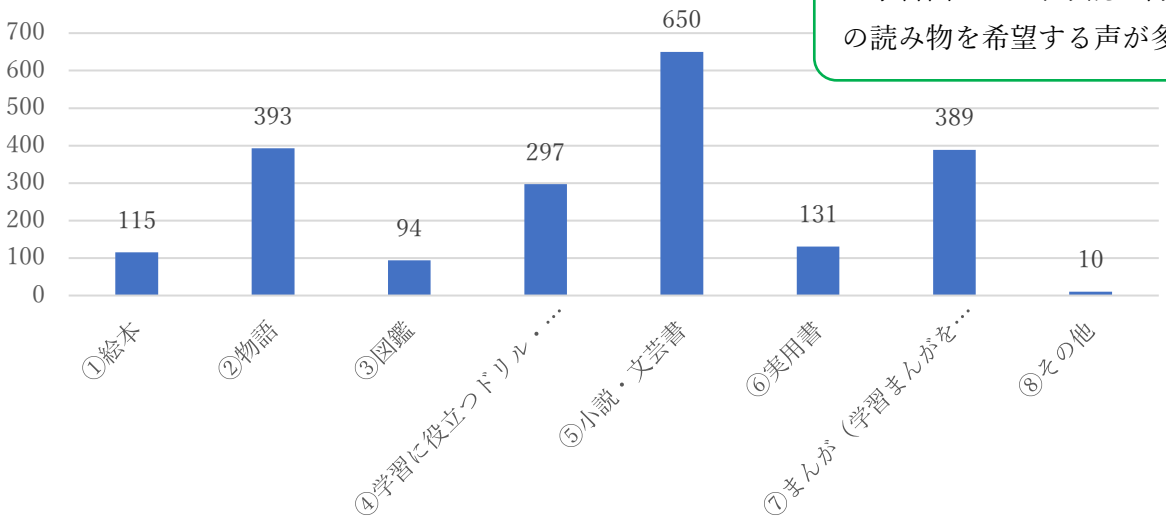
問４　令和３年度に「北九州市子ども電子図書館」が開館しました。あなたは利用したことがありますか。

電子図書館を利用したことがある生徒は、わずか５％ほどに留まる。



問５-(1)　電子図書館にどんな分野の本が充実していればよいと思いますか。（３つまで）

学習面よりも、小説や物語などの読み物を希望する声が多い。

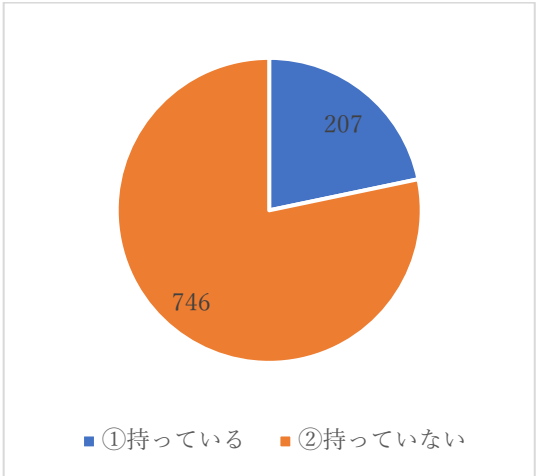


問５-(2)　⑧その他と答えた方へ。どんな分野の本が充実すればよいと思いますか。

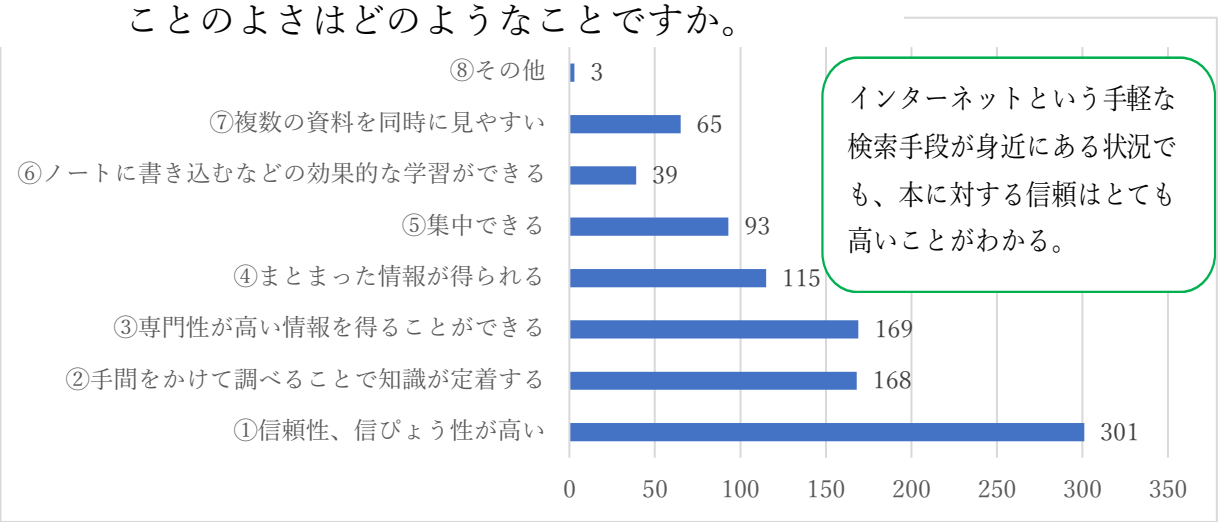
幅広いジャンルでコミックとか、雑誌、スポーツ系、啓発、エッセイ、映画小説、教科書・赤本

問６　北九州市立図書館の図書館カード（貸出カード）を持っていますか。

市立図書館の貸出カードを持っている高校生はわずか２割強で、かなり少ない。学習室を使用するためだけに来館する生徒もいると考えられる。



問７-(1)　何かをくわしく知りたいときに、本で調べることのよさはどのようなことですか。

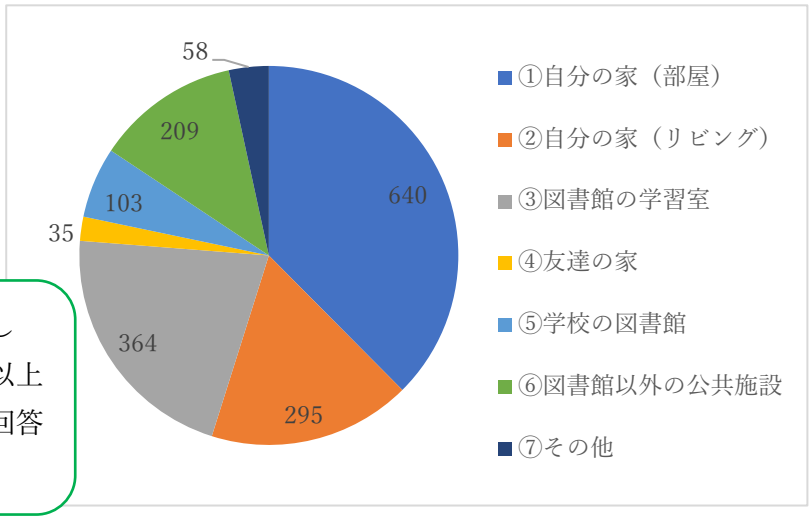


インターネットという手軽な検索手段が身近にある状況でも、本に対する信頼はとても高いことがわかる。

問７-(2)　問７-(1)でその他と答えた方へ。本で調べることのよさはどのようなことですか。

回答なし

問８-(1)　学校の教室以外で最も学習に集中できる場所はどこですか。（３つまで）

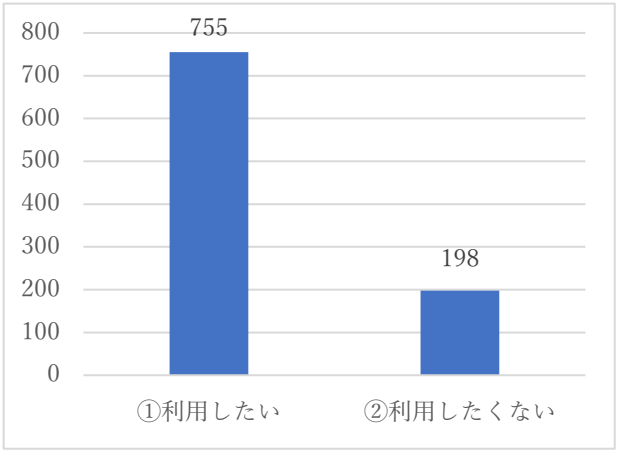


学習に集中できる場所として、自宅という回答が半数以上である一方、図書館という回答も、全体の約３割弱あった。

問８-(2)　問８-(1)でその他と答えた方へ。学校の教室以外で学習に集中できる場所はどこですか。

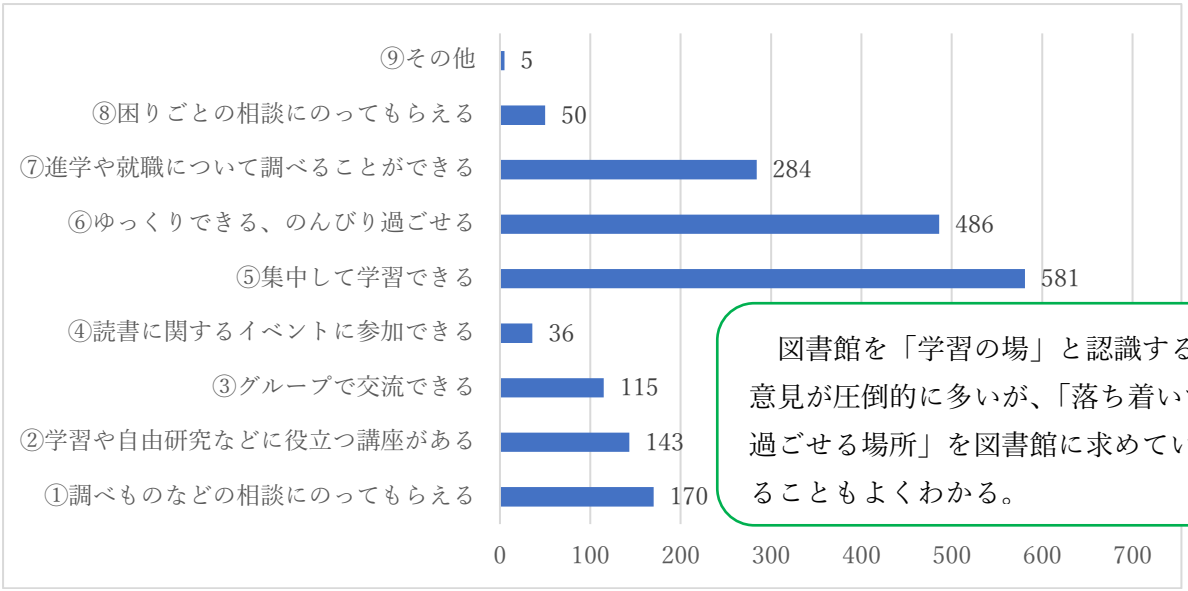
塾、塾の自習室、駅の自習ルーム、予備校、祖父母の家、カフェ、スターバックス、喫茶店、食堂、学校の自習室、学校のフリースペース、学校の食堂、一人で仕切りがあって自分のスピードでできる場所、どこにもない

問９　自宅や学校以外で安心してのんびりくつろげる場所があれば、利用しますか。



８割近くの生徒が、自宅や学校以外にも、くつろげる場所を求めている。

問１０-(1)　「本を読む・借りられる」「調べものができる」ことに加えて、どんなことができたら（どんなものがあったら）市立図書館に行きたいと思いますか。（３つまで）

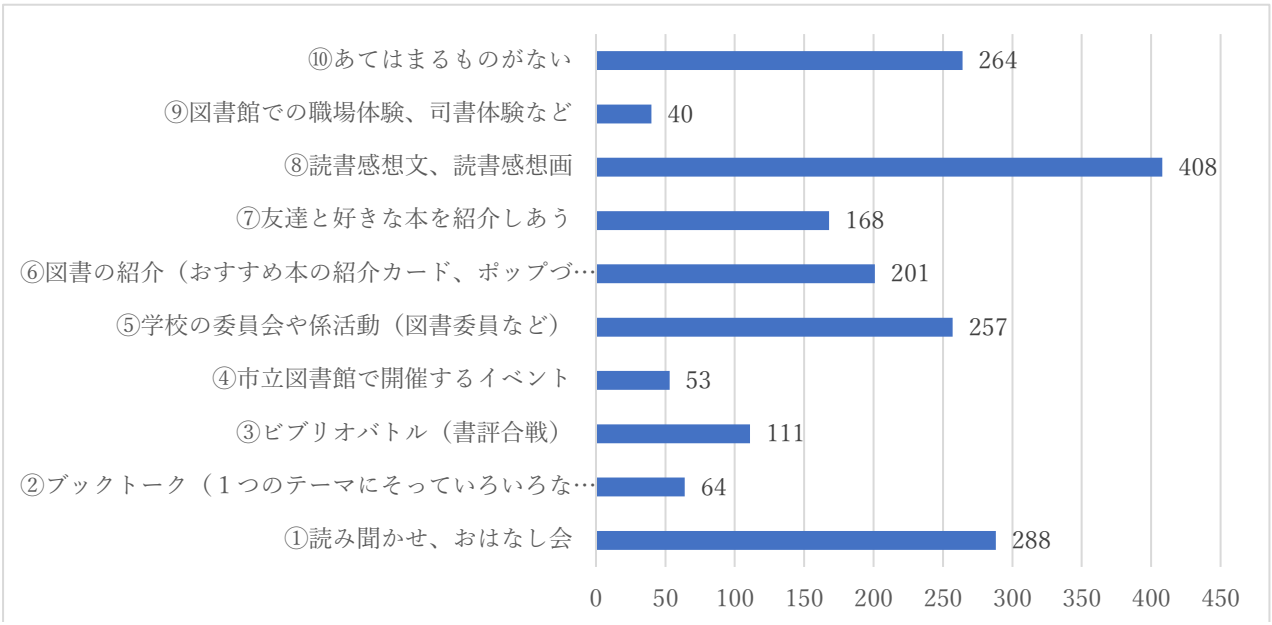


図書館を「学習の場」と認識する意見が圧倒的に多いが、「落ち着いて過ごせる場所」を図書館に求めていることもよくわかる。

問１０-(2)　問１０-(1)で⑨その他と答えた方へ。どんなことができたら市立図書館に行きたいと思いますか。

回答なし

問１１　選択肢のうち、参加したことがある（やったことがある）ものは何ですか。（あてはまるものすべて）



読書感想文・感想画は小・中学校の授業等で作成した生徒が多いせいか、経験者が多い。また、読み聞かせについても、学校等で地域の読み聞かせボランティアが活動している成果が表れていると考えられる。一方で、図書館での職場体験や図書館で実施するイベントへの参加経験は少なく、小・中学校時代にも、読書以外の目的で図書館に足を運ぶ機会はあまりなかったのではないかと考えられる。